

KES 登録事業所訪問記

vol. 4

(有)あさくま浄化槽メンテナンス

主な業務内容：廃棄物収集運搬および
処理施設維持管理・保全業務

KES 登録日：2004年2月1日

6月2日 水曜日、今回おじゃましたのは、さつま町鶴田に事務所を構える【あさくま浄化槽メンテナンス】さんです。

九州初！そして、さつま町発！

「ISO 取得も考えたが、私たちは世界を相手にするわけではないので...。」と話すのは、環境管理責任者の片岡さん。世界は相手にしないけれど、社員一丸となって真剣に取り組めるシステムを...。ということで KES ステップ 2 を取得されました。



当時、KES ステップ 2 取得は九州初。2004年（平成16年）2月のことです。

また、本業である水質についての勉強会を、地元さつま町の公民館や小学校で開くなど、地道な活動を通して環境の大切さを発信し続けています。

富士通・日本特殊陶業など大手取引先も、KES による環境活動を評価しています。

小さいことの積み重ね

「最初は、社員に数字を上げることをお願いするのに気が引けました。」と話すのは、事務局の坂元さん。営業を担当されている女性です。

朝、仕事に出て行かれた社員みなさんが事務所に帰るのは夕方。一日頑張ってクタクタの体で細かなデータの抽出や管理をされることは、本当に大変だと思います。それでも KES ステップ 2 を取得できたのは、小さいことをひとつずつ大切に積み重ねてきたから。これまでの生活を、ちょっぴり環境に優しいものにするための声かけや、情報の共有化により、少しずつ取り組みが浸透していかれたようです。今では、5つの環境部門の主任・部長さん中心となって、取りまとめを行っていらっしゃいます。

「小さい事をコツコツ行ってこそ、大きい事ができる。」環境管理責任者 片岡さんの印象的なお言葉です。

次のステップへ

当初は、省エネや経費削減など具体的な目標達成に向けて取り組むのが精一杯だったとか。でも「KES を始めて何か変化はありませんか？」の質問に、「最近では KES の仕組みを業務に活かすよう心がけています。」とのこと。KES が本当の力を発揮するのは、きつとこれからですね。『KES ステップ3のキックオフ!』といったところでしょうか。

最新鋭の水リサイクル車

従来の汚泥収集運搬車に大幅に改良を加えた『NS 式汚泥濃縮車』は、全国でも 120 台しかない水リサイクル車です。

CO₂ 排出削減・節水・時短・コストダウンを実現したこのすごい車は、今日も北薩路を忙しく走り回っています。



環境意識を映し出すもの

長年のお仕事で培われたプロの目は、浄化槽の中にその家庭の環境意識レベルを感じ取ることができるそうです。「ここは、食器を洗う前に油分をふき取るひと手間を忘れないご家庭だな。」とか「洗剤のかわりに、米のとぎ汁を使ってるな。」など。逆に、「廃油をそのまま排水口に流してるんじゃないだろうか...。」と我が目を疑いたくなるようなこともあるとか。家庭の中のことは誰も見てないけれど、その環境意識は、必ずどこかに反映されていることを忘れてはいけません。そして私たち一人ひとりが、未来の地球環境に大きな責任を担っていることを、いつも心の片隅に置いておきたいものです。

大切なバランス

「昔の川には、自浄作用があって、多少の生活排水ならきれいにできていました。川の流れにも意味があって、流れが曲がったところに浄化に必要な微生物がたくさんいたのに、最近のまっすぐに矯正された川では、微生物の棲みかが少なくなっていました。」と話してくださいました。

昔は、人間文化の発達と自然のバランスが絶妙で、人間も自然の一部として生きていたはずなのになぁ。早く正しいバランスを取り戻したいですね。